



「やまがた多職種連携学生ネットワーク」活動報告会

—地域の福祉や医療・介護に対し、学生はどのように関わることができるのか?—

本学が主催している「やまがた多職種連携学生ネットワーク」では、これまでに介護食をテーマとする婚活イベント、医学生・看護学生等との合同ワークショップ、自治体主催健康フェアへのブースの出展等、幅広く活動をおこなってきました。今回は、これまでの活動を振り返り、成果と課題を共有しつつ、地域包括ケアシステムの構築に向け、学生の立場からどのように関わっていけばよいかの方向性を整理します。

地域の福祉や医療については、市民一人ひとりに関わる課題であることから、一般公開の講座とし、地域住民を始めとして自治体や病院・福祉施設等からの参加も歓迎いたします。

○日 時：平成29年2月10日（金） 16:00～18:30

○会 場：酒田市公益研修センター1階 中研修室1

○内 容：

基調報告「医療・介護への学生の巻き込みから企業の巻き込みへー社会連携の最新動向」

瀬尾利加子氏（前・庄内地域医療連携の会事務局）

報 告①「活動の立ち上げ支援を振り返って」

石名坂洋行氏（元・山形県庄内保健所 保健企画課 健康企画・調整担当）

報 告②「活動の“隊長”として」

山田岳人（東北公益文科大学 地域福祉コース4年）他4年生メンバー

報 告③「これからの活動を考えるー倉敷、宮崎などの先進事例もふまえ」

丹野浩平（東北公益文科大学 地域福祉コース3年）

報 告④「今後の活動への期待」

庄司大輔氏（山形県庄内保健所 保健企画課 健康企画・調整担当）

パネルディスカッションー成果・課題と今後の方向性

報告者全員、担当教員：鎌田剛・神田直弥

総 評 信夫松子氏（順仁堂遊佐病院副院長・総看護師長）



○対象／参加費：どなたでも／無料

参加申込：2月8日（水）までに FAX 0234-31-2082 または Email: coc-staff@koeki-u.ac.jp にてお願いします

お名前

ご所属

ご住所

お電話番号または email

主催・お問い合わせ：東北公益文科大学 地域共創センター

998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1（※会場住所と同じ） Tel：0234-41-1115 Fax：0234-31-2082

（ご記入いただいた個人情報は本イベントの連絡のみに使用いたします。メールでのお申込みは上記内容をご記載ください）